

公益財団法人 横浜記念金沢の文化創生財団30周年記念公演

和のオーケストラ 金沢素囃子の魅力

財団創立30周年を記念し、和のオーケストラと言われる
金沢素囃子を中心とした多様な演奏をお届けします。

2022年 2月23日(水・祝) 13:30開場・14:00開演
(令和4年)

会場／金沢市文化ホール (金沢市高岡町15-1)

入場無料・全席自由

入場整理券をご希望の方は、
郵便番号、住所、氏名、電話番号、希望人数をご記入のうえ、
メール、ファックスまたははがきにてお申込みください。

【お申込み先】

金沢市文化政策課内「横浜記念金沢の文化創生財団」事務局

〒920-8577 金沢市広坂1丁目1-1 Fax 076-220-2069 E-mail bunshin@city.kanazawa.lg.jp

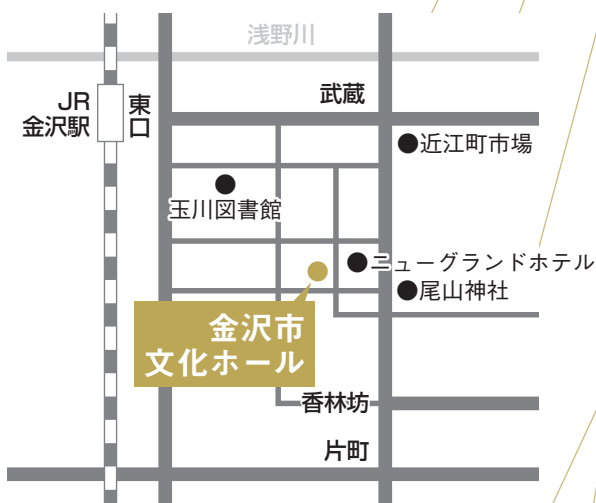
*定員になり次第締切ります。(先着順)

*未就学児の入場はご遠慮ください。

*駐車場はございませんので、公共交通機関をご利用ください。

*新型コロナウイルスの感染状況などにより、開催内容が変更または中止となる可能性があります。

メールはこちらから→



主催／公益財団法人 横浜記念金沢の文化創生財団

お問い合わせ／金沢市文化政策課内「横浜記念金沢の文化創生財団」事務局 〒920-8577 金沢市広坂1丁目1-1 Tel 076-220-2442

【出演】



金沢素囃子子ども塾

「金沢素囃子」の伝統を受け継ぐ人材を育成するため、平成17年度に開講。現在は、第9期生が月2回、2年間のカリキュラムでお稽古を重ねています。



金沢素囃子保存会

昭和53年に結成。金沢における素囃子は現在、望月、堅田両派が継承されており、加賀百万石の伝統文化を代表する芸能のひとつです。



多田由実子(フルート) 根来かなう(ヴァイオリン)
北林多香子(ピアノ) 望月太満衛(囃子)

洋楽器と和楽器が組み合わさり、いつもとは違った演奏をお楽しみいただけます。

金沢素囃子とは

素囃子(すばやし)とは、長唄、常磐津、清元といった邦楽から、お囃子のみが独立した演奏形式です。金沢で発展した素囃子は「金沢素囃子」と呼ばれ、全国的にも格調高さや優美華麗さが評価されている、和のオーケストラと言われる総合芸術です。「三味線」「小鼓」「大鼓」「太鼓」「笛」に長唄を加えて演奏をします。

公益財団法人 横浜記念金沢の文化創生財団について

金沢の伝統文化の振興に役立てたいという横浜茂雄氏の思いを受け、平成3年9月に氏と横浜鋼業株式会社からの寄付を基に財団法人横浜記念金沢の文化創生財団を設立。平成24年4月1日からは、公益財団法人として金沢市の指定文化財である金沢素囃子を中心に金沢の伝統芸能の継承・育成に努めています。

新型コロナウイルス感染症対策／ご来場様へお知らせとお願い

- ◎以下に該当する方はご入場いただけませんので、ご来場をお控えください。
37.5度以上の熱や咳、のどの痛みなどの症状がある方や全身倦怠感など体調がすぐれない方。
新型コロナウイルス感染症陽性とされた人との濃厚接触がある方または、過去2週間以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国・地域への訪問歴及び該当在住者との濃厚接触がある方。
- ◎ご来場の際は、新型コロナウイルス感染症対策にご協力くださいますようお願いいたします。